

【答弁】 注意喚起している

火災対策を

【問】 いじめ対策を巡る問題が全国的な話題になり、令和6年度には全国の小中高でいじめの認知件数、重大事態と認定された件数が共に過去最多となった。いじめは深刻化する前に発見することが重要だが、職員に向けてどのような対策や研修を行っているのか。

【答】 いじめはどの学校でも起こりえるという考えのもと、いじめに気づく力を高める校内研修を行っている。加えて、夏休み中には早期発見・連携対応等について学ぶ研修を行い、研修後にも各校で情報共有を行っている。

【問】 地域展開したクラブ活動で、いじめが発生した際の対応方針は。

【答】 従来の学校における生徒指導に準じた対応を行う。その後、教育委員会等に報告し、内容によっては所属中学校も交えて対応する。



いじめ、だめ、絶対

いじめ対策



無所属
たけうち もとなり
竹内 基就 議員

【答弁】 いじめの防止策は毎年、生徒指導研修を実施

【問】 住宅密集地での火災は短時間で燃え広がり、消火も困難な問題がある。住宅密集地での火災を想定した消火・救助の訓練は。

【答】 加古川市消防本部で車両等の侵入が困難な地域を事前に確認し、シミュレーションして対策した上で小さな消防車も導入している。

【問】 火を使う機器の住民へ向けた危険性の啓発は。

【答】 広報はこれまで毎年、暖房器具の取り扱いを注意喚起している。

【問】 土山駅の玄関としての役割を

土山駅のぎわいは

【問】 かこバスミニの乗客へ意見等のアンケートは実施しているのか。

【答】 令和7年10月に加古川市がアンケート調査を実施し、結果を取りまとめ中である。



公共交通拡充に向けて

【問】 令和6年10月から「かこバスミニ」の平岡東南ルートが運行を開始し1年が過ぎた。令和6年9月定例会で一般質問した際は、新たなルート計画はないと答弁された。交通空白地解消や交通弱者への対策の進捗状況は。

【答】 法に基づく地域公共交通活性化協議会で議論を重ね、合意形成を図ることが最優先であるが、令和8年度実証実施に向け、予算計上する予定である。

また、町内でタクシーが不足しているという声があるので、タクシー協会と意見交換会を実施している。

【問】 街路樹にも点灯してはどうか。

【答】 街路樹を利用したイルミネーションは、樹木の休眠期間の晩秋から冬にかけてに限定される。イルミネーションの期間延長は子ども議会でも提案があったことから、令和9年度以降の実施に向けて検討をしていきたい。

公共交通は



チーム新星
おおきた よしこ
大北 良子 議員

【答弁】 実現に向けての検討委員会は地域公共交通活性化協議会で検討

担う土山駅周辺に、持続的に人が集うことで、町内外に「土山駅北地区のまちづくり」にも興味を示す人が増えると考えられる。イルミネーションの点灯期間を長くしたり、街路樹にも点灯してはどうか。

【問】 令和6年10月から「かこバスミニ」の平岡東南ルートが運行を開始し1年が過ぎた。令和6年9月定例会で一般質問した際は、新たなルート計画はないと答弁された。交通空白地解消や交通弱者への対策の進捗状況は。

人権条例は



チーム新星
こうの てるよ
河野 照代 議員

【答弁】 専門部署を設置し被害者救済を関係機関と協力し伴走支援する

【問】 播磨町では人権尊重に特化した施策やあらゆる差別に対応する姿勢を明文化しているが、現実には性別役割分業意識が残り、さまざまな人権問題が指摘されている。町長の助言・あっせんについての条項もあるが司法・警察などの介入も必要ではないか。また、専門部署を設置し、伴走しながら被害者救済を最後まで行うべきでは。

【問】 播磨町では人権尊重に特化した施策やあらゆる差別に対応する姿勢を明文化しているが、現実には性別役割分業意識が残り、さまざまな人権問題が指摘されている。町長の助言・あっせんについての条項もあるが司法・警察などの介入も必要ではないか。また、専門部署を設置し、伴走しながら被害者救済を最後まで行うべきでは。

【答】 人権推進室や人権ホットラインを設置し、不当な差別を受けた町民を救済する。重篤なケースは、警察や専門機関に繋ぎ、連携する。町が行う助言・あっせんは、和解に導こうとするもので、伴走支援も行う。

タクシー助成券活用を

【答弁】 目的外使用を危惧

【問】 高齢者等タクシー料金助成券の配布は高齢者に配慮ある施策となっているが、運転手不足でタクシー



人権宣言のまち播磨町

【問】 シーが利用できず、助成券を使いきれない高齢者も多い。そこで、商工会と連携した商店で買い物券などとして利用できれば高齢者の外出促進となるのでは。

【答】 高齢者等タクシー料金助成券の配布は高齢者等の移動支援の充実に目的としており、買い物券などとして利用することは考えてない。

■ その他の質問

■ 高齢者やペットに安全な緑道整備を

町職員



無所属
あさはら としや
浅原 俊也 議員

【答弁】 有益な職員の確保と育成は魅力ある職場と人づくりに努力

【問】 近年、町職員が増加している。町の財政と職員数のバランスは自治体や住民にとっては大変重要である。町の条例では、職員定数は222人となっているが、目標とする人数は。

【問】 近年、町職員が増加している。町の財政と職員数のバランスは自治体や住民にとっては大変重要である。町の条例では、職員定数は222人となっているが、目標とする人数は。

【答】 12月1日現在211名で、目標職員数は、令和7年度実施している業務量調査の結果にて検討する。

【問】 採用は平等であるべきだが、職員が町内在住だと、災害時対応や地域での繋がり等、多くのメリットがある。町内在住の職員や受験者数を増やす取り組みは。

【問】 近年、町職員が増加している。町の財政と職員数のバランスは自治体や住民にとっては大変重要である。町の条例では、職員定数は222人となっているが、目標とする人数は。

【答】 子どもの頃から郷土愛を育む教育を推進しており、将来播磨町に貢献したいという心を醸成している。また、多くの人に受験してもらおうよう、町の魅力を内外に発信している。

【問】 「播磨町愛」、「当事者意識」といった職員のシビックプライドの高揚を図る方策や仕組みが大切だと考えるが。

職員で「タウンプロモーション委員会」を立ち上げるなど、町への愛着と誇りを抱き、自信を持って町の良さを伝えていく職員となるよう努めている。

【問】 「笑顔で輝くまち」となるために、採用・育成・評価・働き方等、人事戦略を進化・深化させることが必要であると考えが。

【答】 職員が町の将来像を意識し自己の成長を実感できるよう、研修や啓発を通して、魅力ある職場づくりに努めていく。



住民に寄り添える職員にエール